

ミニリーダー講習会

2024年度

ミニリーダー5つの約束

- ★元気にあいさつをしよう!
- ★人の話は静かに聞こう!
- ★友だちをいっぱい作ろう!
- ★最後までやりとげよう!
- ★約束は守ろう!

開講式
6月16日(日) 45名参加
上高田区民活動センター

梅雨入り前の記録的な猛暑の中、令和6年度ミニリーダーの開講式が行なわれました。

今年の講習会には昨年より23名多い3年生から6年生まで55名の申し込みがあり、開講式には45名が参加しました。開講にあたり、伊東委員長より「講習会を通じて周りの仲間と仲良くなってください」「安全が第一です。約束はしっかり守ってください」との挨拶があり、高橋上高田共和会会長からも「通っている学校、住んでいる町会は違っても一緒に楽しく学びましょう」とのお言葉をいただきました。

次に参加児童が学年別に前に出て、一人ずつ「名前・学校名・好きな食べ物」の順に自己紹介をしました。初めて会った人の前で発表すること



は、子どもたちにとって良い経験になったことと思います。高学年になるにつれて大きな声で堂々と話せるようになるのだと、つくづく感じました。ちなみに好きな食べ物ベスト3はカレーライス、アイスクリーム、オムライスでした。

今年の講習会も昨年同様6回を予定しています。一年後に会った顔にどの位成長が見られるか、今から楽しみです。

第二回講習会

「飛ぶものを作ろう!」

6月16日(日) 45名参加
上高田区民活動センター

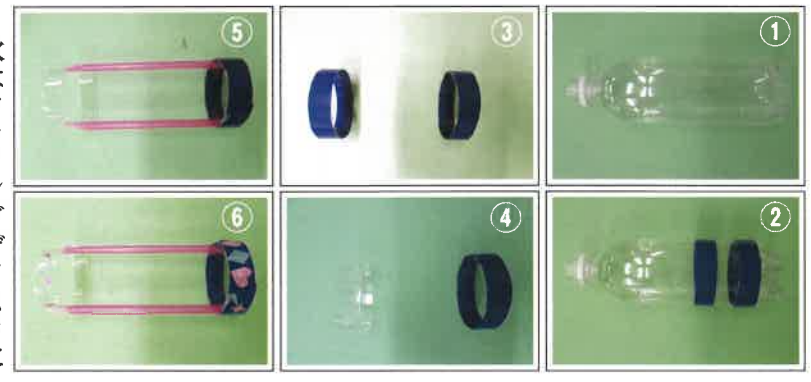
開講式に続き、第一回講習会が行なわれました。8つのグループに分かれて着席し、ミニリーダー5つの約束を子どもたち全員で唱和してスタートです。

今回はストローグライダーとフライングディスク(ダンボールフリスビー)の2つを作ります。まずはストローグライダー作りに挑戦です。目の前に置かれた空のペットボトルとセロテープ、ストローとハサミ。子どもたちは興味津々です。

始めに育成部長が2つの完成品を飛ばせて見せました。その途端、子どもたちから歓声が上がりました。イメージが湧いてきたと思います。



子どもたちはハサミでペットボトルを切った経験がほとんどなく、真剣な眼差しで集中して作業をしていました。ストローをバランスよくペットボトルに貼り付けていよいよ完成です。「できたー」と完成した時の子どもたちの嬉しそうな顔。思わず拍手も出て満足感100%です。



次はフライングディスクに取りかかりました。あらかじめついている線に沿って穴をくり抜き折り目をつけて。こちらは意外と早くできあがりました。「工作が好きだから今日みたいなのが嬉しい」と話してくれた子もいました。

第二回講習会

「カヌー教室」

8月4日(日) 40名参加
令和小学校プール

今年も子どもたちが楽しみにしていたカヌー教室を、令和小学校の屋上プールで開催しました。

例年より多くの参加申し込みがありました。令和小および会のメンバーもお手伝いに加わり、開講の準備は万端です。

7、9名のグループで午前3組、午後2組に分かれ、それぞれ最初に委員長の挨拶、約束の唱和、準備体操を行って、中野区カヌー協会の田中先生の講習スタートです。



田中先生からの「皆さんパドルを持ってください」の声に、待ちわびた子どもたちは「やったー!」と嬉しそうにパドルを手に取ります。最初にプールサイドでパドルの扱い方、カナーに乗った時の姿勢を教わり、いよいよ搭乗します。



まずはカナーに慣れるまで自由にプールの中を漕ぎますが、最初はまっすぐ進めず、思わぬ方向に曲がってしまったりと、他のカナーにぶつかったり大騒ぎ。プールの隅で立ち往生した時は、育成者の手も借りていましたが、練習を繰り返すうちに、みるみる上手に漕げるようになっていきました。

次にプールの端から端まで、まっすぐに進む練習です。この頃にはどの子も明るい表情で、カナーを自在に操ります。最後に、育成者が見守る中、カナーが横転した時の抜け出し方を学び、着衣水泳でプールに沈ませたボール拾いを楽しみました。

講習の終わりを告げると、名残惜しいのか「えー、もう終わりなの?」「もつとやりたい!」と、まだまだ元気な様子を頼もしく感じました。



日差しが強く、とても暑い中での講習でしたが、子どもたちは田中先生や育成者の話をよく聞き、学ぶ姿勢が立派でした。

今回の講習会の「お芋掘り」でも、また元気な子どもたちに会えることが楽しみです。

カヌー教室

インストラクターのご紹介

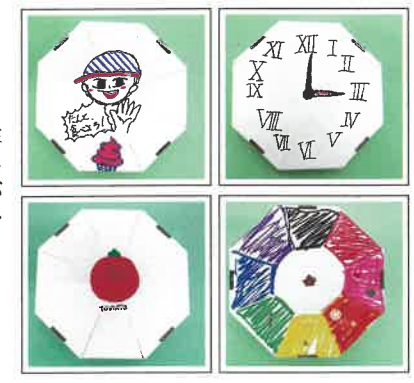


恒例となっている人気講習「カヌー教室」は、中野区カヌー協会インストラクターのご協力を得て行っています。今回は、ご指導いただいたインストラクター田中秀和先生をご紹介します。

カヌーとの出会いは、転勤先の京都で、嵐山を流れる鴨川でレジャーゴムボートに乗ったのがきっかけで、カナーに興味を持ち、30年以上の経験があります。

カヌーの魅力とは、一つ目は、「カヌーそのものの面白さ」。カヌーにはエンジンがなく、自分の力量だけで川を上ったり下ったりしながら、川面に近い視線で自然の中にどつぱりと浸かれることです。

二つ目は、「カヌーを通じて出会った仲間と過ごす時間」。東京に戻ってから、青梅市、中野区のカヌー協会に所属し、山登りやきのこと狩り、キャンプなど協会の仲間たちと毎



2つの作品ができたところで地下の多目的室に移動しました。飛距離とコントロールを学年別に競います。コントロール部門では中央に置いたカゴを狙いたいのですがなかなか入りません。唯一の成功者、白桜小5年生の夏井君が飛距離でもトップを取り総合優勝しました。おめでとう!



総合優勝
白桜小5年生
夏井 湊人君

週末のように自然と親しんでいます。

この活動を通じて子どもたちに伝えたいことは一つ目は「自分の身一つでカヌーを操る楽しさ」。エンジンのないカヌーは、パドルと艇と身体を一つにすることで自分の力が艇に伝わり思うように操れるようになるので、この『できるようになる楽しさ』を子どもたちにも感じて欲しいです。

二つ目は「川や湖など自然にふれる魅力」。自然の中で仲間や家族と過ごす時間は人生を豊かにしてくれます。そして最後は「感謝の気持ち」。安全なプールでカヌー体験ができるのは、地域や保護者の方の協力があるからです。誰に感謝すればよいか考えられるようになって欲しいと思っています。

今年は、令和小学校の他に、緑野小学校、平和の森小学校のプールでもカヌー教室で子どもたちを教えてくださいました。

コロナ禍以前より十数年にわたり、子どもたちをご指導いただいた田中先生。インタビュの中も笑みを絶やさず、日に焼けて真っ黒な先生は若々しく、取材をしている私たちから見てもとっても魅力的な方でした。